

7月26日(火)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほほ
日刊サマーミュージーザ

Hobo Nikkan Summer Muza



サマーミュージーザの名物企画「真夏のバッハ」、今年は大オルガンとポジティブ・オルガンをそれぞれにふさわしい作品で使い分け、またチェンバロ作品のオルガン編曲で遊び心を添えた充実したコンサートとなった。

前半はオルガン・ソロの大曲(BWV564)、ポジティブの伴奏で「シェメツリ歌曲集」(独唱はアルト＝カウンターテナー)、オルガンとヴァイオリンのデュオ、オルガン、ヴァイオリン、アルト独唱によるカンタータ楽章と盛りだくさん。ベルギー出身で日本で活躍するジャン＝フィリップ・メルカールトのオルガンは軽やかなタッチ、(ストップの選択も含めて)柔らかく明るい音響が特徴。ペダルも積極的に活



用する。チェンバロパートをオルガンに置き換えた「ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ第3番」では、伸びやかに歌うヴァイオリンの美音(独奏：玉井菜採)をオルガンが包み込むように伴奏する、独特な音響世界が出現した。3人の出演者全員が一堂に会したカンタータ第132番のアリアでは、光り輝くヴァイオリンとまろやかでスモーキーなアルト独唱(独唱は中嶋俊晴)の絡みが絶品だった。

この夜のメインは後半の「ゴルトベルク変奏曲」オルガン版(メル



7/24 真夏のバッハⅧ
ジャン＝フィリップ・メルカールト パイプオルガン・リサイタル

彩り豊かな音響と
自在な編成!
多彩な切り口で
バッハを満喫

©T.Tairadate

カールト編)。全曲繰り返しながら疾走し、全体のおよそ半分でペダルが活躍して低音の変奏曲であることを刻印する一方で、さまざまなストップの音色が噴出する。緞帳を上げるように華麗な第16変奏で始

まった後半は圧巻だった。バッハは楽器を選ばないが、楽器によって同じ曲が別物になる。その醍醐味を改めて思い知った一夜だった。
(音楽物書き 加藤浩子)



終演後、中嶋俊晴(左)、J.P.メルカールト(中央)、玉井菜採(右)の3名で

お客様から

ゴルトベルク!!ピアノやチェンバロで聴くことはあってもパイプオルガンで聴くのは初めて。多彩で豊かな音色に教会の中にいる錯覚さえ?するほど。2CBの座席の真正面から演奏する姿に仕事人・大バッハもそうだったのか?と妄想全開で堪能したすばらしい一時。あやうく昇天しそうに……。ありがとうございました。(50代・薬剤師・葉月) / カウンターテナーの中嶋さんとプレトークのお話の声と歌声とのギャップに驚き!オルガンとのハーモニー、ホール全体に響き渡り、すばらしい癒しのヒトキでした。(70代・マッチ) / 普通ヴァイオリンの音楽を聴く時は水平や上から見下ろして聴くことが多いが、今日のパイプオルガンとのデュオは上から音が聴こえてきて、目を閉じて聴いているとヴァイオリンの音とパイプオルガンの音とが混ざってまるで「天上の音楽」のようだった。(60代・J.ナット) / 2つのオルガン、それぞれよかったです。ほかの2人もとてもよく合っていました。(7歳・小学生・コトミ) / 配信からの視聴でした。冒頭からメルカールトさんの音に惹き込まれて、天使のような中嶋さんの歌声と豊かな響きの玉井さんのヴァイオリンとの競演、とても素敵でした。また、手鍵盤だけでなく足鍵盤を間近で見られたり、配信ならではの楽しみを思う存分味わうことができました。(エミコ)

配信控え室から



サマーミュージーザは配信も充実!
見どころ・聴きどころや
配信の現場の声をお届けします。

上記レビュー公演のアーカイブ配信は
7/26(火) 正午から開始です!

オルガンは手も足も使って演奏するので、配信ではぜひ目に注目してください。映像ならではの見どころです!(From カメラマン)
パイプオルガンはホール全体が鳴っているので、ヘッドフォンで体感してほしいです。
(From 音響)



【出演】パイプオルガン：
ジャン＝フィリップ・メルカールト
ヴァイオリン：玉井菜採
カウンターテナー：中嶋俊晴
【配信限定コンテンツ】
オープニングインタビュー：
ジャン＝フィリップ・メルカールト





ジョナサン・ノットの 「ラヴェル・プログラム」にも期待大!

本日(7月26日)のサマーミュージーザは、ラヴェルのバレエ作品をたっぷりお贈りします!そして本日会場に足を運んでくださった皆様へぜひおすすめしたい公演が、10月16日に開催される「ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集第180回」公演です。この公演の前半でラヴェル作品をお聴きいただけます。

まずはピアノ曲でお馴染み、ラヴェル本人が管弦楽版に編曲した「道化師の朝の歌」。続いて新進気鋭のソプラノ歌手、安川みくによる色彩感溢れる歌曲集「シエラザード」を披露します。そして後半は、ジョナサン・ノットが東京交響楽団の音楽監督に就任以来、15番、10番、5番と取り組んできたショスタコーヴィチの交響曲から、いよいよ「第4番」を披

露!全15曲の交響曲の中でも最も大編成かつハイレベルなテクニックが随所にみられる同作は、マーラーの影響も色濃く、まさに聴きごたえ満点の作品です。

100人を超える巨大編成が奏でる大迫力のサウンドを、ぜひ生演奏でご堪能ください。音楽監督ジョナサン・ノットによる渾身のプログラムを、どうぞお楽しみに!(さ)



ジョナサン・ノット



安川みく

ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団
名曲全集 第180回 10月16日(日)14:00開演

【出演】指揮:ジョナサン・ノット ソプラノ:安川みく*

【曲目】ラヴェル:「鏡」から道化師の朝の歌(管弦楽版)

ラヴェル:歌曲集「シエラザード」*

ショスタコーヴィチ:交響曲第4番/短調

【チケット】S席7,000円 A席6,000円 B席4,000円 C席3,000円

当日学生券1,000円(25歳以下、要学生証)

「名曲全集」シリーズ
9~3月公演
各公演好評発売中

セット券がお得!

11月~3月の5公演はお得な「後期セット券」を発売中です。もちろん1回券でもお求めいただけます。

パートナーショップのご紹介
**エンジョイ!
川崎!!**
Enjoy Kawasaki



食の好みに あわせてチョイス♪

天ぷらは注文が入ってから揚げてくれるので、揚げたてのサクサクと、たれがしみ込んだジューシーさが絶妙なバランスで最後まで飽きることなくおいしくいただきました。

ちなみに写真奥は、家族が選んだ「阿里城」さんの海老ワンタン麺(味噌味)&半チャーハンです。

こちらのフードコート、他にはハンバーグ、カレー、ラーメンとメニューも豊富でパートナーショップ協力店も複数あります。ぜひお立ち寄りください♪ (山ちゃん)

コンサートの後、気軽なお食事におすすめなのが、ルフロン2Fにあるフードコートです。先日も家族と一緒にに行ってきました。私はいつか食べたいと思っていたこの天丼!ということで「天麩羅えびのや」さんで海老2本入りの天丼そばセット(税込910円)。

天麩羅 えびのや

G ルフロン2F

パートナーショップ特典

ワンドリンクサービス
ソフトドリンク

※クーポン持参者のみ

コンサートと一緒に
もうひとつのお楽しみ!

**PARTNER
SHOP**

掲載店一覧はこちら

↑サービス対象店舗はこのPOPが目印!
スマホからクーポン券を提示するだけ!
クーポン券は7/23~8/11まで
何度でも利用できます。
公演がない日でももちろんOK!

全19公演を映像配信! 8月末まで見放題♪



- ✓ 臨場感あふれるカメラアングル
- ✓ こだわりの音質
- ✓ 配信オリジナルのコーナー

オンライン鑑賞券

全19公演セット券 12,000円
1回券 500円~1500円

購入・視聴はミュージーザ Web チケットで!

フェスタサマーミュージーザ公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

#フェスタサマーミュージーザ
#夏ジャン
で検索 & 投稿
お待ちしています!



Twitter: @summer_muza
Facebook: @kawasaki.sym.hall
Instagram: @muzakawasaki



涼しいホールで熱い音。そしてショッ
プを覗き、WEBクーポン持って近隣の
飲食店へ。さらに家に帰っても配信で。ア
ッ、想像するだけで…。そんなこんな
の「夏のミュージーザ」。思いのままにお楽
みください。だって「夏、ジャッソ」。
(経営管理課K)

夏が来れば思い出す♪
今年も「フェスタサマーミュージーザ」
が始まりました。
スタッフは「ミュージーザの日(7月
1日)」から既にアクセル全開。お
客様を迎える準備は万全です。
昨年は家でオリンピックを見てた人
も、今年はミュージーザで熱くなる。(とい
いなあ)。熱くなるのはいいけれど水分補
給を忘れずに。水分補給と言えは、ホー
ルのショップも「サマーミュージーザ」で満
を持して再開。大変長らくお待たせ…で
す。オリジナルグッズはもちろん、飲み物
も用意してありますので、ちよっと覗い
てみてください。

日刊サマーミュージーザ
Hobo Nikkan Summer Muza

スタッフ日誌